令和４年１１月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和４年１１月１１日（金）
２．開 催 日 時　令和４年１１月２８日（月）　１４時３０分～１６時２０分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２４人
５．監 事 総 数　２人
６．出席理事数　１３人（Web 会議システムによる出席１３人）
７．出席監事数　１人（Web 会議システムによる出席　１人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、南　直樹、安室 篤志、齊藤 基樹、上島　健、秋山 正稔、田村 大輔、横山 聡洋、竹内 博次、平井 英次、藤田 亮則、川村 道夫、後藤 章洋

９．出席監事の氏名

川崎 一郎

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　創立５０周年記念事業について
第２号議案　新年賀詞交歓会について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき、１０月２６日開催の記念式典及び記念祝賀会の収支状況について報告があった。別日開催となった祝賀会で変動が見込まれる科目について説明があった。

続いて当日カメラマンが撮影した写真について式次第に沿って説明があった。また、記念誌の役員紹介ページで使用する写真データの提供について、未提出の役員に再度依頼があった。

次に先週２４日に開催した正副理事長会において祝賀会の開催について協議し、来年１月２６日（木）に新年賀詞交歓会を兼ねて開催することを決定したことの報告があった。

嶋崎議長から、コロナの状況を考え、例年の様に正副理事長会、理事会、賛助会員 PR 会、講演会は行わずに懇親会のみとして、それを祝賀会としたいと説明があった。５０名以上の参加が見込める場合に開催することとし、１７時開始で２時間から２時間３０分で、感染症対策を施した上で、着席で行いたいと考えていると説明があった。

後藤理事から、まず開催案内を出してからの判断になるのかと質問があり、嶋崎議長は、来賓の方が参加されるかは分からないが、組合員及び賛助会員に案内し、５０名の参加を判断基準としたいと説明があった。

安室専務理事会ら、実行委員の方々には引き続き協力依頼があった。特に式典・講演小委員会の方には、当日のご協力をお願いしたいと説明があった。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　中間決算について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和４年４月１日から９月３０日までの上期６ケ月間の中間決算について説明があった。

・ハイブリッド型で講習会を開催したが、コロナ禍により受講者が少なかった。
・技能検定試験の助成金が手続きの遅れで、１０月上旬の入金になっている。
・賦課金については、１社の未収があったが、１０月上旬に入金済み。
・総会については、周年行事に向けての対応のため役員による食事会を開催した関係で支出が多く出ているため、マイナスになっているが、下期で解消されると考えている。

嶋崎議長は、中間決算について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　外国人技能実習制度：試行試験について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、先週２１日から試行試験が始まったことの説明があった。

・学科試験３日間（１１月２１日初級、２５日専門級、２９日上級）機械振興会館
　実技試験３日間（１２月６日上級、７日専門級、８日初級）㈱フューチュアテック
・東部から受検者２７名、首席試験監督者２名、補佐員４名派遣。中部、西部から試験監督者を派遣。事務局は２名参加するが、事務局の増員要請があり、補佐員の方を中心にお願いした。

嶋崎議長から、明日（２９日）上級の学科があることと初日に立ち会った際に受検票が見当たらないとか、遅刻しそうになるとかがあり、事例として対応できて良かったのではないかと考えている。業界として外国人実習生を受け入れることが出来るのかの審査を外国人技能実習機構に受けていることになる。受検生を派遣いただいている組合員企業と横山理事や吉田氏をはじめ試験監督者として協力いただいている方々に謝辞が述べられた。東部の負担が大きいが、業界として大事な事業なので、再度協力依頼があった。

田村理事から、次のステップとスケジュールについて質問があり、安室専務理事から試行試験終了後に外国人技能実習機構から指摘事項が示され、その対応について回答した後に専門家会議が開かれ、最終判断が下りると考えられ、今年度内になるのではないかと説明があった。首席試験監督者の横山理事から、試行試験における機構の担当者の様子について報告があり、試験問題の難易度についても指摘されるのではないかと説明があった。

田村理事から、（一社）日本金属熱処理工業会からのアンケート調査の内容について審問があり、嶋崎議長から外国人の特定技能制度に関するアンケートなので、技能実習制度とは別であることの説明があった。

後藤理事から、この実習制度の他に創立 50 周年記念祝賀会や組合まつりがあり、担当役員や事務局が対応に大変なのではないかと質問があり、嶋崎議長から祝賀会については宴席のみで負担が掛からないように考えていると説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき「組合まつり」参加に関する経過報告と進捗状況として、小間ブースデザイン、和鋼博物館からお借りする展示品、パンフレット、概算経費等について説明があった。

お借りする展示品：刀の模造刀（長刀、短刀）、玉鋼（展示用、触れるもの）、
タペストリー、作刀工程資料

続いて、ブースのモニターで流す熱処理に関する映像の提供の協力について説明があり、理事会で承認を得て、組合員に依頼したいと説明があった。

田村理事（部会長）から、イベントが詰まっている状態だが、準備をして来たので参加したいと述べられ、青年部会のメンバーには先日メールで途中経過報告を行い、現状のブースデザインについて意見をお願いしていて、１２月半ばには、最終決定をしないと間に合わないと説明があった。

また、映像以外にも写真や熱処理品のサンプルの提供もお願いしたいと説明があり、時間のない状況で準備しているが、成功させたいと述べられた。

上島理事から、小中高生や大学生などの若年層に金属熱処理のPRを行うことを考えるとパンフレットが難しいと思うので、分かり易い資料を用意する必要があるのではないかと意見があり、田村理事から資料は必要だと思っているが、用意が無いので何か提供して欲しいと述べられた。上島理事から、小学生向けの資料があるか確認して見るが、自社に特化した内容だと使えないので、そこも合わせて確認したいと説明があった、

嶋崎議長から、平日開催のため若年層へのPRは難しいかもしれないが、用意が出来れば良いと思う。まずは、今回の参加で見えてくることがあると思うので、それからでも良いと述べられた。和鋼博物館に着眼点を置いたのは、素晴らしく良いと思うし、展示品を借りるのに大変苦労があったと考えている。組合まつりに参画して熱処理をPRするだけでも意義があると述べられた。

嶋崎議長から、予算オーバーについて質問があり、田村理事から当初のブースデザインを変えて、次回も使用できるように考えながら負担を減らせるように検討していると説明があった。

嶋崎議長から、意義を見出して継続して行っていけるようになれば良いと思うと述べられた。

南副理事長から、来年度以降も継続して行うのであれば、組合として予算を別枠で設定する必要があると意見があった。

続いて南副理事長から、来年度以降の青年部会の人事について提案したいと述べられ、田村理事から１期４年で体制を変えて活性化をしていきたいと説明があり、人事案の報告があった。

部会長　山田　　毅、副部会長　横山 聡洋、副部会長　熊木　　宏

嶋崎議長から、「組合まつり」と人事案について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第６号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１０月６日開催の今年度第２回 BCP 推進 WG について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①緊急時の連絡網について、②メンバーの BCP 策定の進捗状況について、③連携事業継続強化計画の更新申請に

ついて

連携事業継続強化計画の更新申請については、準備が遅れていることの報告があり、見直しや追加項目について参加企業２１社で検討した。

・感染症対策については、各社で行っているので、追加しない。

・緊急時の炉の停止について情報共有が出来ると良い。

・組合で簡単な安否確認システムが出来ると良い。

・取り残していることを着実に行う。

続いて安室専務理事から１１月２日開催のマーケティング委員会及び第５回価格交渉サポートセミナーについて議事録及びアンケート結果に基づき報告があった。価格交渉サポートセミナーについては、東京都中小企業団体中央会の支援事業を活用し、「価格交渉力強化」をテーマにしてオンラインで開催した。ZOOM のブレイクアウトルーム機能を使ってグループディスカッションを実施したこと。アンケート結果から、価格交渉力を付けたいとか、エネルギー費や副資材の高騰に対する価格転嫁したい等の理由で参加されている方々が多くあり、グループディスカッションで同業他社の方と意見交換が出来たことが良かったと感想が多くあったこと。また、カーボンニュートラルについての関心が高く、今後の課題となっていることの報告があった。

続いて安室専務理事から、１１月７日開催の第３回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①SDGs セミナーについて、②外国人技能実習制度について、③来年度の活動方針について。SDGs セミナーについては、今年２月に行った SDGs セミナーで概要について行ったので、内容少し掘り下げた内容で行うこととし、東京都中小企業団体中央会に講師を紹介いただいた。

講　師：小野田 信二 氏（公益財団法人 地球環境戦略研究機関 リサーチマネージャー）

テーマ：中小製造業の SDGs 取組事例を中心に

日　時：令和５年２月９日（木）午後、オンラインもしくはハイブッリド開催

続いて１１月１８日に開催された技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①今後の活動計画について、②令和５年度の活動計画について、③外国人技能実習制度試行試験について

藤田理事（品質委員長）から、ガス燃焼技術基礎研修会については、東京ガスだけでなく、バーナーメーカーや設備機器メーカーまで広げて検討したいと考えていることと品質活動発表会については、顧客監査をテーマにして、ZOOM のブレイクアウトルーム機能を活用してグループディスカッションを行いたいと考えていることの説明があった。ハイブリッド開催した ISO 内部監査員養成研修会は、対面が良いとは思うが、ZOOM のブレイクアウトルーム機能を使ってのグループディスカッションやグループ発表が上手くできたので、今後も活用して行きたいと意見があった。

嶋崎議長から、組合員の講師について増員が出来るようにしたいと考えているので、候補者について推薦して欲しいと説明があり、自前で教育体系を構築したいと述べられた。

嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第７号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、関係団体の表彰について報告があった。

・東京都中小企業団体中央会［10 月 12 日（水）］

令和 4 年度会長表彰　組合功労者：竹内 博次 理事

・一般財団法人素形材センター［11 月 4 日（金）］
第 38 回素形材産業技術表彰　奨励賞：㈱池田熱処理工業　森田 祐貴 氏
第 60 回素形材産業優良従業員表彰：㈱オーネックス　渡辺 誠二 氏

嶋崎議長から、第７期製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」が終了し、来年４月開始の第８期について東京工業大学及び社会人アカデミーと開催することで打合せを行ったことの報告があり、組合の教育体系にとって重要な位置づけになっていることの説明があった。

安室専務理事から、次回の理事会については、２月に予定したいと報告があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了した。曽根副理事長より閉会を告げ散会した。

令和４年１１月２８日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　南　直樹　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　齊藤 基樹　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　平井 英次　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　川村 道夫　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　川崎 一郎　㊞